（様式第２号）

就労選択支援サービスの指定に係る確認書

年 　 月 　 日

長浜米原しょうがい者自立支援協議会 御中

　　　　　　　　所在地

法人名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者職・氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

就労選択支援サービスを実施するにあたり、下記項目を確認し理解しました。指定を受けた後は、常に下記項目に記載されている事項を念頭に置き、適正な事業の実施に努めます。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | チェック | 確認項目 | 説明 |
| 就労選択支援サービスに対する理解 | □ | 就労選択支援サービスが設けられた趣旨を正しく理解している | 障害のある方の就労能力や一般就労の可能性が十分に把握されず、適切なサービスにつながらないケースがあること、また一度就労継続支援A型/B型の利用が始まると固定化しやすい現状を理解している。 |
| □ | 就労選択支援サービスの目的を正しく理解している | 本人が就労先や働き方についてより良い選択ができるよう、就労アセスメントの手法を活用して、本人の希望・就労能力・適性等に合った選択を支援することを目的としている。 |
| □ | 障害種別や程度による利用者の選別を行わない | 働くことは本人の機能的能力だけでなく、環境調整が重要であるという「社会モデル」の考え方を理解している。 |
| アセスメント手法 | □ | 必要な職員体制を確保している（または確保予定である） | 人員配置基準の遵守だけでなく、職員の専門性向上や継続的な研修体制を整備する予定である。 |
| □ | 利用者の就労可否を一方的に判断しない | 本人の就労能力・適性・ニーズ・強み、環境要因、支援や配慮事項等を本人と協働して整理し、自己理解を促すとともに選択肢を広げる。 |
| □ | アセスメント結果を適切に共有・活用する | 本人や家族、関係機関と結果を共有し、個人情報を保護しながら今後の就労支援に活用する。 |
| □ | この圏域で定められたルール（各種ツールの使用、会議への参加）を遵守する意思がある。 | 圏域で重視している視点や共通アセスメントツールを理解し、今後協力して活用する。 |
| 計画相談等  （行政ケースワーカーや拠点コーディネーター） | □ | 計画相談支援事業所等と連携している（または連携予定である） | 利用者への相談支援が適切に行われるよう、指定計画相談支援事業所等と連携する。またセルフプラン利用者の支援者とも連携し、意思確認を行う。就労選択支援事業所と計画相談事業所は異なる事業者であることが望ましい。 |
| 関係機関との連携 | □ | 関係機関との連携体制を整備している（または整備予定である） | ハローワーク・医療機関・はたくら・教育機関・サポステ等と連携し、利用者の状態変化に迅速に対応できる体制を整える。 |
| 地域生活支援拠点 | □ | 地域生活支援拠点の機能・役割を理解し、地域づくりに参画する予定である | 障害のある方が地域で豊かに生活するために「働く」ことが重要であること、特に重度障害者の地域移行推進に積極的に取り組む姿勢を持っている。 |
| 地域自立支援協議会 | □ | 地域自立支援協議会に積極的に参画する予定である | 評価会議だけでなく専門部会等に参加し、圏域の状況把握や他事業者とのネットワーク構築、地域課題解決に向けた取り組みに主体的に関与する。 |